

【実績】「第5期島根県犯罪のない安全で安心なまちづくり基本計画」に基づく進行管理表（事業実施状況表）

1 県民等による自主的な活動の推進

施策	事業	具体的な取組内容	R2実績	担当課
(1) 県民等の防犯意識の高揚	ア 自主的な防犯環境整備の推進	身近な防犯環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ●ホームページや各種会合において、防犯指針を踏まえた防犯環境の整備について広報啓発を行った。(環境生活総務課) ●ボランティア団体と警察の協働パトロール、通学路の点検、地域安全マップの作成を実施した。(生活安全企画課) 	環境生活総務課 生活安全企画課
		防犯灯、防犯カメラの設置促進	<ul style="list-style-type: none"> ●防犯カメラの設置促進について記載されている防犯指針を、県ホームページで公表・周知を図った。(環境生活総務課) ●警察により設置した街頭防犯カメラの保守点検を行った。(生活安全企画課) ●JA共済連から県防犯連合会に街頭防犯カメラ100台の寄贈を受け、県内各地に設置した。(生活安全企画課) ●自治体、企業等に対し、街頭防犯カメラの設置の働きかけを実施した。(生活安全企画課) 	環境生活総務課 生活安全企画課
	イ 各種媒体を活用した広報・啓発	各種広報媒体を活用した県民への防犯意識の啓発	<ul style="list-style-type: none"> ●ラジオやホームページ、新聞広告、チラシ、しまね安全安心ネットメール、ツイッター等を活用した広報啓発を行った。(環境生活総務課) ●民放テレビ局の情報番組やテレビ・ラジオのスポットCMのほか、ホームページ、ポスター等を活用した犯罪被害防止広報を実施した。(生活安全企画課) ●みこびー安全メール、島根県警察安全安心情報ツイッター等、ヤフー防災速報！により県民に対し、各種防犯情報を提供した。(生活安全企画課) ●交番広報紙等により、各種防犯情報を提供した。(生活安全企画課) 	環境生活総務課 生活安全企画課
		啓発ポスターの募集や表彰	<ul style="list-style-type: none"> ●山陰中央新報社と、犯罪のない安全で安心なまちづくり啓発ポスターコンクールを主催し、175点の応募があった。(担当3課) ●小・中学校、高校等に対して啓発ポスターを募集し、優秀作品の審査、表彰及び作品を活用した広報を行った。(担当3課) ●10月17日、島根県警で開催した「犯罪のない安全で安心なまちづくりポスター表彰式」および「全国防犯功労者等表彰式」を開催し、防犯に関する気運の醸成を図った。(担当3課) 	環境生活総務課 教育指導課 生活安全企画課
		犯罪は最大の人権侵害であることなどについての広報啓発	「しまね人権フェスティバル」において広報を行うこととしていたが、コロナウイルス感染症拡大防止により「しまね人権フェスティバル」が中止となったため、実績なし	人権同和对策課
	ウ まちづくり旬間における広報・啓発	「犯罪のない安全で安心なまちづくり旬間」の浸透化と定着化	<ul style="list-style-type: none"> ●10月9日、JR松江駅において、旬間開始街頭キャンペーンを行った。(担当3課) ●犯罪のない安全で安心なまちづくり啓発ポスター表彰式(10月17日)を開催した。(担当3課) ●各種媒体を活用した「犯罪のない安全で安心なまちづくり旬間」の広報を実施した。(担当3課) 	環境生活総務課 教育指導課 生活安全企画課
	エ 地域安全情報の提供	重層的防犯ネットワーク等を活用した安全安心情報等の迅速な提供	<ul style="list-style-type: none"> ●金融機関、配送事業者、コンビニエンスストア宛での「振り込めメールネット」及び「オートコール」で特殊詐欺発生時に情報提供をして水際対策の強化を図った。 ●各種防犯ネットワークを活用し、関係機関、団体、事業者等に対して安全安心情報をタイムリーに提供した。 ●事業者等に「防犯テキスト」等を配布し、防犯意識の啓発に活用を依頼した。 	生活安全企画課
		多様な広報媒体を通じて犯罪情勢や防犯対策等の情報の広域的な提供	<ul style="list-style-type: none"> ●「くらしの情報」の発行、「だまされないゾウくんツイッター」、「しまね安全安心ネットメール」等各種媒体を活用し、悪質商法や特殊詐欺被害防止等に関する情報をタイムリーに発信した。(環境生活総務課) ●知事部局と県警で連携したチラシの作成や新聞折り込み広報紙を作成し、情報提供を行った。(担当2課) ●テレビや新聞等を活用し、特殊詐欺をはじめ各種犯罪被害防止等を目的とした情報提供を実施した。(生活安全企画課) ●みこびー安全メール、島根県警察安全安心情報ツイッター、ヤフー防災速報！を利用し、タイムリーかつ広域的な情報提供を実施した。(生活安全企画課) 	環境生活総務課 生活安全企画課
		「みこびー安全メール」や「不審者情報マップ」等による犯罪情勢等の迅速な提供	<ul style="list-style-type: none"> ●みこびー安全メールや島根県警察安全安心情報ツイッター、ヤフー防災速報！により、タイムリーな情報を提供するとともに、島根県警察ホームページでの登録呼びかけや、各種防犯講習会において周知活動を実施するなど、登録者の拡大を推進した。(担当2課) (メール登録者8761人/R2末) ●島根県警察本部ホームページに「不審者情報マップ」を掲出し、随時更新して周知を図った。(少年女性対策課) 	生活安全企画課 少年女性対策課

【実績】「第5期島根県犯罪のない安全で安心なまちづくり基本計画」に基づく進行管理表（事業実施状況表）

1 県民等による自主的な活動の推進

施策	事業	具体的な取組内容	R2実績	担当課
		県内の通話エリア拡大の促進	<ul style="list-style-type: none"> ●市町村が実施する携帯電話の不感地域を解消するための移動通信用鉄塔施設設備を支援した(国庫補助事業)。 実施地域5地区(事業費 127,292千円) *令和元年度からの繰越を含む 	情報政策課
	オ 講演会・研修会等の開催	専門家等による講演会、出前講座等の開催	●開催なし	環境生活総務課 生活安全企画課
	カ 鍵掛け運動の広報・啓発	広報媒体を活用した啓発と駐輪場等での注意喚起による鍵かけの普及促進	<ul style="list-style-type: none"> ●鍵掛け等をテーマとした犯罪のない安全で安心なまちづくり啓発ポスター募集(5月～9月)を行い、175点の応募があった。(担当2課) ●防犯ボランティア等との協働により、駅や学校の駐輪場における鍵かけ促進の注意喚起を実施した。(生活安全企画課) ●4～5月を鍵かけ強化期間として設定し、各種鍵かけ対策を推進した。(生活安全企画課) ●学校と連携して「鍵かけモデル校」を指定し、生徒が主体となって取り組める環境整備を図った。(生活安全企画課) 	環境生活総務課 生活安全企画課
		自動車盗や車上ねらいの自動車関連犯罪の被害防止	<ul style="list-style-type: none"> ●4～5月を鍵かけ強化期間として設定し、鍵かけ普及活動を推進した。 ●ボランティアとともに駐車場等での鍵かけ点検を実施した。 	生活安全企画課
	キ 県民等の意識調査・研究	安全安心まちづくりに関する意識・実態の調査	●しまねwebモニター及び県政世論調査により、「安全安心まちづくり」に関するアンケート調査を行った。(担当2課)	環境生活総務課 生活安全企画課
(2) 地域での自主的な活動、連帯意識向上の推進	ア 防犯ボランティア団体への支援	自主防犯活動の継続・活性化支援	<ul style="list-style-type: none"> ●「犯罪のない安全で安心なまちづくり旬間」中、警察本部において全国防犯功労者・団体への表彰状伝達式を開催し、活動に功労のあったボランティア団体に表彰伝達を行った。(担当2課) ●各地区のボランティアリーダーによる「島根県地域安全推進員連絡協議会総会」を書面表決により開催し、持続的な防犯活動について情報共有を行った。(生活安全企画課) 	環境生活総務課 生活安全企画課
		防犯リーダーや若年後継者の育成支援	●令和3年1月7日、警察本部において「全国防犯ボランティアリーダー研修会」をオンラインで開催し、県内のボランティアリーダー4名により、全国7都県との意見交換を行い、育成支援を図った。(生活安全企画課)	環境生活総務課 生活安全企画課
		地域活動団体に対する支援	<ul style="list-style-type: none"> ●各地域の防犯ボランティアに対して青色回転灯などの防犯活動を行うための物品を貸与した。 ●自主防犯活動を活性化させるため、みこびー安全メール等により、安全安心情報等を継続的に発信した。 ●地域安全推進員及び青色防犯パトロール隊員のボランティア保険へ加入した。 ●コロナ対策として防犯ボランティアの活動に際し、抗菌ジェルとマスクのセットを配布した。 	生活安全企画課
		「しまね防犯ネットワーク」への登録の呼びかけ、「しまね安全安心ネットメール」による情報提供等	<ul style="list-style-type: none"> ●県ホームページにおいて、継続的に登録の呼び掛けを行った(R3.3末現在・125団体)。 ●子ども・女性みまもり運動実施事業者を継続的に募集した(R3.3末現在1557事業所)。 	環境生活総務課
		優良活動団体に対する表彰	●優良な活動を実施している防犯ボランティア団体について、各市町村・警察署から推薦を受けた6団体に対し、「犯罪のない安全で安心なまちづくり賞」を授与した(2月)。	環境生活総務課

【実績】「第5期島根県犯罪のない安全で安心なまちづくり基本計画」に基づく進行管理表（事業実施状況表）

1 県民等による自主的な活動の推進

施策	事業	具体的な取組内容	R2実績	担当課
イ	様々な団体と連携した地域ネットワークづくり	住民の交流活動の促進	<ul style="list-style-type: none"> ●青少年育成島根県民会議と連携して「しまね家庭の日」及び「【しまニッコ！】（スマイルで声かけあい）」両県民運動の普及活動を推進し、地域・職場の絆強化に努めた。（青少年家庭課） ●青少年育成団体の活動を促進するため、関連支援事業により4団体を財政補助した。（青少年家庭課） ●「ふるさと活動モデルづくり事業」においては、地域で活動したい子どもたちの思いを大人が聞き、かかわる大人とのつながりをコーディネートし、様々な活動が展開された。（社会教育課） ○4市町村（川本町、益田市、津和野町、吉賀町） 事業費 1,551千円 ●「公民館等を核とした人づくり機能強化事業」においては、市町村の公民館等の実態に応じて、職員のスキルアップを図る取組や、社会教育にかかわる人材の育成（社会教育主事・士）が図られた。（社会教育課） ○6市町村（安来市、川本町、邑南町、益田市、吉賀町、海士町） 事業費 2,111千円 ●上記2つの事業を推進する人材を3市町村に配置した。（社会教育課） ○3市町村（安来市、益田市、吉賀町） 事業費 2,900千円 ●「結集！しまねの子育て協働プロジェクト」においては、学校・家庭・地域がそれぞれの役割と責任を自覚し、地域全体で子どもを育む活動を行う市町村への支援を行った。（社会教育課） ○事業費 46,134千円 【実施市町村】 <ul style="list-style-type: none"> ・学校支援 15市町村 ・地域未来塾 4市町村 ・放課後支援 18市町村 ・外部人材を活用した教育支援 5市町村 ・家庭教育支援 12市町村 	青少年家庭課 社会教育課 少年女性対策課
		防犯ボランティア団体等の連帯意識の向上	<ul style="list-style-type: none"> ●「犯罪のない安全で安心なまちづくり旬間」中、警察本部において全国防犯功労者・団体への表彰状伝達式を開催し、活動に功労のあったボランティア団体に表彰伝達を行った。（担当2課） ●各地区のボランティアリーダーによる「島根県地域安全推進員連絡協議会総会」を书面表決により開催し、持続的な防犯活動について情報共有を行った。（生活安全企画課） 	環境生活総務課 生活安全企画課
ウ	事業者の自主的な活動の推進	事業者による子どもや女性の安全確保	<ul style="list-style-type: none"> ●子ども・女性みまもり運動実施事業者を継続的に募集した（R3.3末現在1557事業所が登録）。（環境生活総務課） ●県内の事業者に対して「子ども110番の家」、「子ども・女性みまもり運動」への参加を働きかけた。（警察署長指定「子供110番の家」（R2末現在5420軒）（生活安全企画課） 	環境生活総務課 生活安全企画課
		事業者による効果的な防犯活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ●警備業協会やJA共済連など各事業者に対し、防犯対策について助言を行い、協働した啓発活動を行うなど活性化を行った。 ●山陰中央新報社等による「黄色い手帳運動」（ボランティア団体に対する青色回転灯の贈呈等）を後援し、指導、助言を実施した。 	生活安全企画課
		事業活動にあわせた自主的な防犯CSR活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ●防犯CSR活動の普及促進を行った。 	生活安全企画課
エ	高齢者の社会参加活動の推進	高齢者による安全安心なまちづくり活動の促進	<ul style="list-style-type: none"> ●老人クラブが行うボランティア活動などや高齢者大学校の運営に対する支援を行った。 	高齢者福祉課

【実績】「第5期島根県犯罪のない安全で安心なまちづくり基本計画」に基づく進行管理表（事業実施状況表）

1 県民等による自主的な活動の推進

施策	事業	具体的な取組内容	R2実績	担当課
(3) 特殊詐欺を発生させない気運の醸成	ア 個別訪問等による被害防止広報・啓発の充実	警察官等の戸別訪問活動時での直接的な被害防止広報	<ul style="list-style-type: none"> ●独居高齢者への個別訪問用に、「独居高齢者向け消費者被害防止啓発マスクケース」を作成・配布(33,000部)して直接的かつ具体的な注意喚起を行った。(環境生活総務課) ●特殊詐欺被害防止コールセンターを設置(R2.10月～R3.3月)し、電話による直接的な注意喚起を実施した。(生活安全企画課) 	環境生活総務課 生活安全企画課
	イ 各種媒体を活用した被害防止の広報・啓発の充実	各種広報媒体を活用した特殊詐欺被害発生状況、被害防止対策等の情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ●「くらしの情報」の発行、「だまされないゾウくんツイッター」、「しまね安全安心ネットメール」等各種媒体を活用し、特殊詐欺被害防止等に関する情報をタイムリーに発信した。(環境生活総務課) ●2課で共同して「新型コロナウイルス感染症関連注意情報」を2回発行し、新型コロナウイルスに関連した特殊詐欺や悪質商法に関する注意喚起を行った。(担当2課) ●2課で共同して新型コロナウイルスに関連した特殊詐欺についてYouTube啓発動画を公開し、注意喚起を行った。(担当2課) ●知事部局と県警と連携したチラシの作成や新聞折り込み広報紙を作成し、情報提供を行った。(担当2課) ●テレビ、新聞、ラジオ等に加え、みこびー安全メールや島根県警察安全安心情報ツイッター、ヤフー防災速報！等を活用して、被害発生状況や被害防止対策に関する情報を発信し、被害防止のための広報啓発を実施した。(生活安全企画課) ●YouTubeの配信や地元ケーブルテレビなどを活用し、非接触型の広報を展開した。(生活安全企画課) 	環境生活総務課 生活安全企画課
	ウ 被害発生時の被害拡大防止のための迅速的確な情報提供	被害発生時の手口等の広域的な情報提供による被害拡大防止	<ul style="list-style-type: none"> ●「だまされないゾウくんツイッター」、「しまね安全安心ネットメール」等各種媒体を活用し、特殊詐欺被害防止等に関する情報を早期に発信した。(環境生活総務課) ●被害発生時はテレビ、新聞等各種広報媒体を活用し最新の手口等に関する早期情報提供を実施した。(生活安全企画課) ●特殊詐欺の予兆電話認知時に、メール、ツイッター、告知放送を活用し早期に情報提供し、被害拡大防止のための注意喚起を実施した。(生活安全企画課) ●被害発生時には、生活安全企画課との情報共有を密にし、タイムリーな広報を行った。他県での発生状況把握にも努め、最新の被害状況を発信した。(捜査第二課) 	環境生活総務課 生活安全企画課 捜査第二課
	エ 出前講座、被害防止研修会等の充実	特殊詐欺に関する出前講座や被害防止研修会等の開催	<ul style="list-style-type: none"> ●特殊詐欺被害防止等のための出前講座や研修会を開催し、県民の抵抗力を高め、被害発生の未然防止のための活動を行った。(担当2課) ●防犯教室等への参加呼びかけを推進した。(生活安全企画課) ●寸劇や歌を盛り込み親しみやすい防犯教室を実施した。(生活安全企画課) 	環境生活総務課 生活安全企画課
	オ 金融機関等と連携した水際阻止対策の強化	チェックシートの確実な活用や声かけの徹底等による未然防止活動	<ul style="list-style-type: none"> ●島根県金融機関防犯連合会総会が書面審議となったことから、特殊詐欺被害防止に関する依頼文を連合会に向け発出した。(生活安全企画課) ●「振り込めメールネット」及び「オートコール」により、特殊詐欺に関する情報をタイムリーに発信し、水際阻止対策を強化した。(生活安全企画課) ●コンビニエンスストア対象に電子マネーによる被害防止用封筒を配布し、レジでの声かけ及び被害防止を強化した。(生活安全企画課) ●特殊詐欺被害の未然防止活動に対する報奨金制度を実施した。(生活安全企画課) ●コンビニサポートボリスによるきめ細かな防犯指導を実施した。(生活安全企画課) 	環境生活総務課 生活安全企画課
	カ 様々な機関、団体、事業者等と連携した取組の推進	特殊詐欺撲滅対策推進本部の運営による、様々な機関等による活動の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ●10月6日県庁講堂において、16の関係機関・団体による連絡会議を開催し、それぞれの取組内容等の情報共有を行った。 	生活安全企画課